

2022年1月9日

陵門会員各位

会長 難波剛
総監督 後藤昌之

岡山大学陵門会/育英基金趣意書

2007年5月25日 第6代OBであり、検察官として活躍されていた吉田節樹氏が逝去されました。彼は、1992年にウエイトトレーニング部に入部し1996年に卒部。1999年に司法試験に合格し、奥様と結婚後、2人の子宝に恵まれました。

現在、長女瑞葵さんは高校2年生、次女侑生さんは中学3年生になり、今年、長女瑞葵さんは高校3年生となり、受験を迎えます。

2019年 育英基金を作ることを総会にて方針了承いただきました。

その後、コロナ渦等 様々な環境変化もあり、育英基金設立が遅れておりましたが、本総会にて①ウエイトトレーニング部を卒部し、②陵門会員(本人)が逝去し、③その時点で、ご子息が18歳未満 ④大学進学希望の場合に、その基金から300千円/人を上限として、育英基金から返済不要の奨学金を給付できる制度を作りたいと考えており、その承認をお願いしたいと考えています。

尚、育英基金については、毎年の陵門会費 12千円の内、2千円を育英基金に充当することとします。2019年、2020年 2021年に陵門会費を支払っていただいた延べ人数は、150名となりますので、(67名/28名/55名)、2022年度に、300千円(150名X2千円)を育英基金に移管し、2022年以降は、陵門会費支払い人数に応じて、毎年OB口座から振替え処理を行うこととなります。

尚、要件を満たし、奨学金を支給すると判断した場合には、総会にて報告させていただくことにいたします。

我々は、我々陵門会のご遺族が、向学心に溢れ、勉学に注力できる環境作ること、我々の活動に対する理解を深め、ご遺族に対しても、少しでも力になりたいと考えています。

何卒ご理解賜り、ご了承いただけますよう よろしく願ひいたします。

以上